オーディオ実験室収載

TIDAL を楽しむ(1)
―TIDAL の設定―

１． 始めに

アサヒステレオセンターでは、TIDAL による MQA 音源のストリーミング再生をテスト中との情報を得ましたので、デモをお願いして試聴させていただきました。その経過は、TIDAL による MQA 再生試聴報告(2019.3.24)で報告しています。それを受けて実際に TIDAL による MQA 音源などのストリーミング再生に取り組むことにしました。

２． TIDAL と MQA 再生の情報収集

アサヒステレオセンターでの試聴経過は、上記の TIDAL による MQA 再生試聴報告(2019.3.24)のとおりですが、その後もメールなどでアドバイスを頂戴しました。また、並行してネット検索を行い、下記のような情報を得ました。

使用する DAC は、フルデコード機能を有する BrooklynDAC+とレンダラーの micro iDSD BL を想定しています。micro iDSD BL については、最近の購入ではないので、ファームウエアーの更新が必要であり、それらの情報はディーラーから得ました。

TIDAL HP・契約関係

https://tidal.com/

TIDAL サポート情報関係

https://tidal.com/whatistidal/

https://support.tidal.com/hc/en-us/articles/115000397069-TIDAL-MASTERS

TIDAL 関連情報関係

https://one-hack.com/tidal/

https://kotonohanoana.com/archives/14943

http://www.monoandstereo.com/2017/01/tidal-master-quality-audio-new.html

https://www.whathifi.com/tidal/review

http://sisaudio.blogspot.com/2018/06/tidalroon.html

海外サイトアクセス情報関係

https://cre027t.jp/tidal/

http://www.tendoors.jp/tidal

https://www.tunnelbear.com/

https://hotspot-shield.en.softonic.com/

iFI-Audio 製品ファームウェアアップデート（Windows）関係

http://ifi-audio.jp/firmwarenew.html
http://ifi-audio.jp/winfw.html

３．TIDAL 再生の設定

まず、海外サイトへのアクセスが必要ですので、上記情報からを Tunnelbear を 1 ケ月限定で契約し、米国の設定をしました。

そこで、TIDAL のアプリを Window8.1 機にダウンロードしてインストールして TIDAL を立ち上げますと画面がでてきます。LOGIN をしようとしますとアカウントがないというメッセージがでますので、無料サイトに入ることにします。ここで e-mail アドレスその他のアカウント情報を入力しますと、現在サポートしていない国だというメッセージが出てきて躓いてしまいました。経過をアサヒステレオセンターに相談し、Tunnelbear で UK を選択しますと、無事 TIDAL のサイトに入れました。

ここで、コースの選択になりますが、PREMIUM／HiFi のうち、HiFi を選択して支払いを済ませますと、Welcom メールが届きます。

DAC は Brooklyn DAC+と micro iDSD BL が使用できますが、まずは Brooklyn DAC+でスタートすることにし、SETTING の SYSTEM OUTPUT の選択で Brooklyn DAC+を選択します。

ここで、音源検索で Classical から適当に選択しますと、無事再生が始まり、Brooklyn DAC+の表示は 44.1KHz になり、ロスレスの再生ができているようです。

なお、TIDAL の日本版はリリースされておらず、TIDAL の設定、再生については、マニュアルはなく、HP から簡単な英文のサポート情報を得るとともに、不明点は問い合わせする形になっています。ですから、その他のネット上の情報も含めて、系統的、総合的な情報は得られにくい状況であり、ネット上にも使いにくいという声があります。

４． まとめ

付与曲折がありましたが、アサヒステレオセンターの助言を得て、何とか DIDAL のストリーミング再生にこぎつけました。

以上